

東三河広域連合介護保険料口座振替データ伝送環境構築及び伝送業務委託仕様書

1. 目的

東三河広域連合（以下「発注者」という。）が行う介護保険料を取り扱う金融機関との預金口座振替に係るデータ（以下「口座振替データ」という。）の授受について受託業者（以下「受託者」という。）が発注者の代わりに各金融機関へ口座振替依頼に係るデータ（以下「振替依頼データ」という。）を引き渡し、かつ、口座振替結果に係るデータ（以下「振替結果データ」という。）を受け取ることにより、口座振替データの授受業務を効率化するものとする。

本仕様書は、口座振替データ授受代行業務を委託するため、その内容及び方法等を定めることを目的とする。

2. 履行期間

本業務の履行期間は契約締結日から令和10年3月15日とする。

ただし、受託者は令和9年4月分の口座振替からデータ伝送業務を行えるよう、データ伝送環境の構築を令和9年3月末日までに完了するものとする。

3. 業務の内容

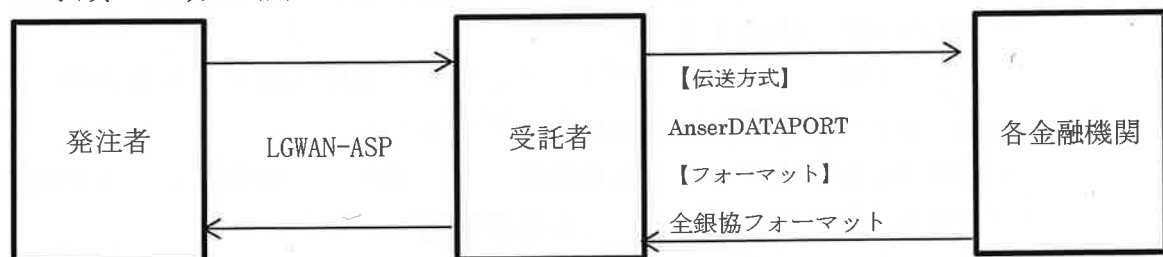
（1）口座振替データ伝送環境の構築

①口座振替データ交換の伝送化

受託者は、LGWAN-ASP サービスを利用した口座振替データ伝送システムを提供すること。

発注者から金融機関へ依頼する振替依頼データ及び金融機関から発注者に対する振替結果データの受け渡しについて、受託者は下記通信方法により伝送化の構築を行うこと。

なお、受託者と各金融機関との伝送は、全銀協標準通信プロトコル（TCP/IP 手順・広域 IP 網）の AnserDATAPORT による送受信を行うものとする。



また、発注者がこのシステムを通じて振替依頼データを送付する際、送信したデータの件数と総額を確認できる機能を備えること。ただし、件数と総額を確認できる機能がない場合、受託者は発注者から別途伝えられた情報を基に、送付されたデータの件数および総額が一致していることを確認すること。

②口座振替データの伝送及び変換

受託者は、発注者から受け取った振替依頼データにエラーがないかシステム上で確認のうえ、金融機関ごとのマルチファイルに統合し、各金融機関からの振替結果データ受領時にはそのデータを集約加工し、依頼時と同様のファイル形式にて発注者に引き渡すこと。仕様については別紙1「データ仕様」のとおりとする。

③金融機関との調整

口座振替対象金融機関とのデータ伝送申込手続きに際し、受託経験から推測される発注者に必要な情報提供及び助言を行い、伝送申込書などの作成を書き方見本などで補助すること。

④伝送テスト

発注者と受託者の間で LGWAN 回線を使った伝送テストを行うこと。また、受託者と口座振替対象金融機関の間については金融機関と受託者でスケジュール調整のうえ伝送テストを実施し、結果を発注者に報告すること。

⑤研修

稼働前に振替依頼データの送付方法および振替結果データの取得方法について職員向け研修を行うこと。

あわせて運用方法を記載したマニュアルを納品すること。

(2) 口座振替データ伝送業務の運用

① 口座振替依頼データの伝送

ア 発注者は振替依頼データを作成し、原則として口座振替日の7営業日前までに(土曜、日曜、祝日及び12月29日から1月3日の期間を除く。) LGWAN-ASP を使用して受託者へ送信する。

イ 受託者は、発注者の振替依頼データを受領後、別途定めるエラーチェック内容に基づき件数及び金額に不整合やエラーがないかデータの確認を行うこと。なお、エラーの有無に関わらず口座振替チェックリストを発注者あて LGWAN-ASP で納品すること。

また、年間スケジュールで予定されている振替依頼データが送信されていない場合、送信有無を発注者に確認すること。

ウ 受託者は振替依頼データを金融機関ごとに統合し、原則として口座振替日の5営業日前の午後3時までに各金融機関に送信すること。

なお、必要に応じて、データ送信時に各金融機関へ件数・金額を FAX または照合データの送信を行うこと。照合データについては、振替依頼データにより作成する。また、振替依頼データを集計した「口座振替データ金融機関別合計表」を発注者あて LGWAN-ASP で納品すること。

② 口座振替結果データの伝送

受託者は各金融機関より振替結果データを受信し、集約処理を行ったあと、原則として口座振替日の3営業日後の午前9時までに発注者あて振替結果データをLGWAN-ASPで納品すること。また、振替結果データを集計した口座振替データ金融機関別合計と金融機関別口座振替不能分明細がわかる書類をあわせてLGWAN-ASPで納品すること。なお、集計した口座振替データ金融機関別合計データをCSVデータやTXTデータ等で取得できるようにすること。

金融機関からは口座振替不能分だけの結果データを受領する場合もあるが、発注者には振替対象データ全件に戻して納品する処理方式も可能であること。

③年間スケジュール

発注者が指定する口座振替の引落日に基づき、受託者は振替依頼データの送付日、引落日、振替結果データの取得日などを記載した口座振替業務の年間スケジュールを作成し、発注者へ提出すること。

また、受託者は発注者から要望があった場合、協議の上でスケジュールの変更等対応すること。

4. 業務対象

(1) 対象金融機関 (28 金融機関)

- ①三菱 UFJ 銀行
- ②みずほ銀行
- ③三井住友銀行
- ④清水銀行
- ⑤静岡銀行
- ⑥大垣共立銀行
- ⑦十六銀行
- ⑧三十三銀行
- ⑨あいち銀行
- ⑩名古屋銀行
- ⑪飯田信用金庫
- ⑫浜松磐田信用金庫
- ⑬豊橋信用金庫
- ⑭岡崎信用金庫
- ⑮豊川信用金庫
- ⑯豊田信用金庫
- ⑰西尾信用金庫
- ⑱蒲郡信用金庫
- ⑲イオ信用組合
- ⑳信用組合愛知商銀

- ②①豊橋商工信用組合
- ②②東海労働金庫
- ②③愛知東農業協同組合
- ②④蒲郡市農業協同組合
- ②⑤ひまわり農業協同組合
- ②⑥愛知みなみ農業協同組合
- ②⑦豊橋農業協同組合
- ②⑧ゆうちょ銀行

(2) 対象科目

介護保険料

(3) 口座振替日

口座振替日年6回の偶数月の月末日。第5期(12月)は28日。

振替日が金融機関休業日の場合は翌営業日。

(4) データ伝送仕様

①ファイル形式

1 ファイルに複数金融機関のデータを格納したマルチファイル形式とする。

なお、データのフォーマットは全国銀行協会指定フォーマットとする。

②伝送方法

発注者と受託者間のデータ送受信においては、発注者の LGWAN 利用可能端末から LGWAN 回線で送受信ができるものとする。各金融機関とのデータ送受信は、全銀協標準通信プロトコル (TCP/IP 手順・広域 IP 網) の AnserDATAPORT で行うこと。

③障害発生時等の対応

本業務に関して障害等が発生した場合又は障害の発生に備えて、受託者は次のとおり対応すること。

ア 受託者は、本業務に関する問い合わせに対して、土曜日・日曜日・祝日及び12月29日から1月3日の期間を除く毎日の午前9時から午後5時まで対応できる体制を整えること。

イ 障害が発生した場合は、直ちに発注者に報告し、発注者と協議した上で復旧を行うこと。

ウ 伝送業務実施時に障害が生じた場合(発注者からのデータ送信時を含む)の代替手段については、発注者、金融機関及び受託者の三者で協議して対応すること。

エ 発注者から受託者に伝送した振替依頼データにエラーがあった場合は、速やかに発注者に報告し、発注者と協議して差し替え等の対応をすること。

オ 受託者から各金融機関に伝送した口座振替データにエラーがあった場合は、速やかに発注者に報告するとともに、対応について指示を仰ぐこと。

カ 金融機関の統廃合や金融機関の新規参入がある場合は、発注者と協議してその都度対応すること。なお、その際における伝送接続テスト等については、発注者、金融機関及び受託者の三者で協議して対応すること。

(5) 口座振替依頼件数

口座振替依頼件数は、令和9年4月分から令和10年2月分の口座振替6回の見込み総件数は約3万件を予定している。

伝送処理料の見積もりは上記の件数を想定とすること。

また、当該部分の費用については、固定料金または従量制とする。

(6) 伝送環境及び施設の安全対策

受託者は、発注者の送信する振替依頼データ及び受託者が受信する振替結果データを登録するサーバ等について、次のファシリティマネジメントを行う。

- ①自社で運用するデータセンターであり、設置場所へ災害対策がされていること。
 - ・建物の耐震性能は新耐震基準による耐震構造であるとともに、機器を設置するに必要な床耐荷重を備えていること。
 - ・電源設備は、非常用電源等を有するとともに、冗長化設備を有すること。また、空調設備は、冗長化設備を有すること。
 - ・消火設備、防火区画、避雷対策を有すること。
- ②入退管理、セキュリティ区画を有すること。
- ③発注者のデータを登録する領域を物理的又は論理的に独立させること。独立することができない場合は発注者が送受信するデータに他者がアクセスすることがないように必要な措置を講じること。
- ④サーバへの不正な侵入に対する検知及び防御を行う機能を有すること。
- ⑤システム利用者の利用状況の記録（ログ等）を取得する機能を有すること。

(7) 資格要件

受託者は、次に掲げる要件を満たす者とする。

- ①プライバシーマークまたは ISO/IEC27001（情報セキュリティマネジメントシステム）の認証を有すること。
- ②LGWAN-ASP 提供事業者として J-LIS（地方公共団体情報システム機構）に登録されていること。
- ③地方公共団体において、口座振替データ伝送業務の受託実績を有すること。

5. その他

①内訳書の提出について

落札者は、契約締結する前までに口座振替データ伝送環境の構築費用及び口座振替データ伝送業務の運用にかかる費用の内訳書を提出すること。

②支払い方法について

口座振替データ伝送環境の構築に要する経費に対する支払いは、構築完了後に支払うものとし、口座振替データ伝送業務の運用に要する経費は、原則半年払いとするが、受託者が希望する場合は、毎月払いとする。

また、件数による従量制での料金体系の場合、実績に基づき支払うものとする。

6. その他

本仕様書に規定のない事項については、発注者及び受託者が協議の上、決定する。

別紙 1 データ仕様

1. データ仕様は以下のとおりとする

ファイル形式	TXT（金融機関毎のデータを連結した 1 ファイル）
使用コード	Shift-JIS（金融機関は EBCDIC）
レコード長	固定長・120 バイト

2. データ作成イメージ

（1）口座振替データは、全銀協制定「預金口座振替（依頼明細）」のレコードフォーマットで作成する。

また、口座振替結果データも同フォーマットで返却とすること。

（記録イメージは以下のとおりとする。）

A 金融機関分レコード群	【A 金融機関】の口座振替データ	A 金融機関用ヘッダー・レコード A 金融機関用データ・レコード A 金融機関用トレーラ・レコード
		A 金融機関用エンド・レコード
B 金融機関分レコード群	【B 金融機関】の口座振替データ	B 金融機関用ヘッダー・レコード B 金融機関用データ・レコード B 金融機関用トレーラ・レコード
		B 金融機関用エンド・レコード
・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・
Z 金融機関分レコード群	【Z 金融機関】の口座振替データ	Z 金融機関用ヘッダー・レコード Z 金融機関用データ・レコード Z 金融機関用トレーラ・レコード
		Z 金融機関用エンド・レコード

また、各金融機関から返却された振替結果データは、振替依頼データと同様のデータにして返却すること。

(2) 金融機関分レコードは、金融機関が採番する委託者コード単位で作成する。

(レコード内容について、次項以降に示す。)

(3) 金融機関分レコードは、次の仕様で作成する。

①ヘッダレコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	Z(1)	「1」をセット：ヘッダレコード
2	種別コード	Z(2)	「91」をセット：預金口座振替
3	コード区分	Z(1)	「1」をセット：EBCDIC
4	委託者コード	Z(10)	各金融機関が定めた委託者のコード
5	委託者名	C(40)	カナ文字および英数字
6	引落日	Z(4)	引落日 (MMDD)
7	取引銀行番号	Z(4)	統一金融機関番号
8	取引銀行名	C(15)	カナ文字および英数字 (左詰残りスペース)
9	取引支店番号	Z(3)	統一支店番号
10	取引支店名	C(15)	カナ文字および英数字 (左詰残りスペース)
11	預金種目 (委託者)	Z(1)	「1」普通預金「2」当座預金「3」納税準備預金「9」その他
12	口座番号 (委託者)	C(7)	委託者の口座番号 (右詰前ゼロ)
13	ダミー	C(17)	スペース

②データレコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	Z(1)	「2」をセット：データレコード
2	引落銀行番号	Z(4)	統一金融機関番号
3	引落銀行名	C(15)	カナ文字および英数字 (左詰残りスペース)
4	引落支店番号	Z(3)	統一支店番号
5	引落支店名	C(15)	カナ文字および英数字 (左詰残りスペース)
6	ダミー	C(4)	スペース
7	預金種目	Z(1)	「1」普通預金「2」当座預金「3」納税準備預金「9」その他
8	口座番号	C(7)	預金者の口座番号
9	預金者名	C(30)	カナ文字および英数字 (左詰残りスペース)
10	引落金額	Z(10)	引落金額
11	新規コード	C(1)	「1」第一回引落分「2」変更分「0」その他

12	顧客番号	C(20)	委託者が定めた顧客番号（種目毎に指定可能）
13	振替結果コード	Z(1)	「0」をセット
14	ダミー	C(8)	スペース

③トレールコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	Z(1)	「8」をセット：トレールコード
2	合計件数	Z(6)	データレコードの合計件数
3	合計金額	Z(12)	データレコードの合計金額
4	振替済件数	Z(6)	ALL「0」
5	振替済金額	Z(12)	ALL「0」
6	振替不能件数	Z(6)	ALL「0」
7	振替不能金額	Z(12)	ALL「0」
8	ダミー	C(65)	スペース

④エンドレコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	Z(1)	「9」をセット：エンドレコード
2	ダミー	C(119)	スペース

(4) レコードフォーマット (口座振替結果)

口座振替処理終了後、金融機関分レコード群毎に振替結果を以下の様に記録して返却すること。なお、本項に記載がないレコード内容は、振替依頼データと同一とする。

① データレコード (個別に振替結果を記録すること)

項番	項目名	桁数	コード	内容
13	振替結果コード	Z(1)	0	振替正常
			1	資金不足
			2	取引なし
			3	預金者の都合による振替停止
			4	預金口座振替依頼書なし
			7	名義人不一致
			8	委託者の都合による振替停止
			9	その他

② トレーラレコード (振替済、不能の件数・金額を記録する)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	Z(1)	「8」をセット：トレーラレコード
2	合計件数	Z(6)	データレコードの合計件数
3	合計金額	Z(12)	データレコードの合計金額
4	振替済件数	Z(6)	振替済件数
5	振替済金額	Z(12)	振替済金額
6	振替不能件数	Z(6)	振替不能件数
7	振替不能金額	Z(12)	振替不能金額
8	ダミー	C(65)	スペース